

NEWS LETTER

2006年 1月20日 No.529

三重大学教職員組合発行

直通 : 059-231-4447 (内線 2169)

E-mail : KYF03351@nifty.ne.jp

URL : <http://homepage2.nifty.com/mie-union/>

新年明けましておめでとうございます。本年も教職員組合に結集し、

教育・研究・労働条件の改善につとめましょう！

06年度中央執行委員あいさつ

西川 洋・執行委員長(人文学部・教員)

まもなく法人化3年目を迎えますが、就業条件では公務員時代の尾を引っ張ってきていました。

2006年度から採用予定の新給与表を含む人事政策・体系では、旧体制を一新する能力主義・成果主義に代わる可能性があります。

来年度は運営交付金の3%削減を免れましたが、再来年度からもそれを維持できるか否かは全く分かりません。併せて公務員人件費を5年間で5%削減することが大学にも適用されることはほぼ間違いなく、運営交付金削減と同じ結果をもたらすと思われます。みんなが「自分には関係ない」と勝手に思い込むことが一番危険です。お互いに職場の変化に敏感になり、相談し合う仲間を広げてゆきたいものです。

石井 敦・副委員長(生物資源学部・教員)

副委員長を務めさせていただきます。組合の執行部、初めてのことで、どこまでできるかわかりませんが、委員長をサポートし、執行委員や組合員の皆さんと連携をとって、組合員の皆さんの職場環境が少しでも改善できるようがんばりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

藤田達生・書記長(教育学部・教員)

法人化二年目の大変な時期に書記長を拝命しましたが、私のような非力な者には荷が重く感じています

改革という美名のもと、賃金カットや雇用の不安定化など、公務員時代には考えられないような問題が表面化しようとしています。なんとか少しでも職場環境や生活の向上に向けて努力してゆきたいと思います。微力ですが、どうぞよろしく願い申し上げます。

杉田正明・書記次長(教育学部・教員)

書記次長を務めさせていただきます教育学部の杉田です。

大学の組合につきましては不慣れな点が多く不安もありますが、自分の任務をしっかりとやっていきたいと思えます。皆様どうかご協力下さいますようお願い申し上げます。

梅田直明・執行委員(工学部・技術員)

今年度、執行委員をさせていただくことになりました工学部の梅田です。

三重大学が法人化されてもうすぐ2年になりますがまだ不安定な状態であり、この大事な時期での中央執行委員ということで重責を感じております。まずは自分のできることからはじめ、1年後には組合員のみなさまのお力になれたと思えるようにがんばります。

以上

2006年度 三重大学教職組定期大会終わる！

12月8日(木) 三重大学教職員組合の2006年度定期大会が開催され、前年度活動報告、決算報告、同監査報告の承認後、新年度中央役員を選出し、06年度活動方針案、同予算案を承認して無事に終了しました。

大会は開会宣言の後、議長団に野崎(人文支部)塚田(生物資源支部)を、議事録書名人に荻原(教育支部)中村(工支部)を選出し、代議員総数26名、出席者17名、委任状提出者5名、計22名で、代議員総数の3分の2(17名)を超えて成立していることを確認しました。来賓(三重国公労組)の挨拶、全大教委員長のメッセージ披露に続いて、松岡委員長が開会の挨拶で、法人化2年途中で「団体協約」締結に至った苦勞に触れました。

第1号議案「2005年度活動報告」では、

- (1)公務員ではなく労働基準法下の労働組合として、労使協議を基本に労使対等の立場で労働条件等を協議するスタート点を確保したこと、
- (2)メーリングジャーナルを立ち上げ各種情報を広報するシステムを確立したこと、
- (3)組合として団体交渉を行うだけでなく、事業場過半数代表とも連携して教職員の要求実現に努力したこと、具体的には、試用期間を6ヶ月から3ヶ月に短縮、非常勤職員の年度末の雇用中断の廃止、非常勤職員の夏季休暇の獲得、等で成果を挙げたこと、
- (4)人事院勧告対応問題では、団体交渉を行い05年度限りの給与改定で多くの大学と同水準(実質マイナスなし)を維持したこと、
- (5)全大教の教職員労働条件の実態調査に参加し、非組合員の看護師・事務職員の相当数から回答を得たこと、
- (6)組織問題では、組合員の減少傾向に歯止めがかからないこと、病院職場・事務部門での組合員獲得が引き続き大きな課題であること、
- (7)附属校園で三教組加盟の新組合ができたが、協力関係にあること、
- (8)組合事務所の移転問題が未決着であること、等が報告されました。

第2号議案「2005年度一般会計決算報告」「同特別会計決算報告」「同監査報告」は、ほぼ前年度並の数字で、組合員数は295人から271人となった旨報告されました。続いて、第3号議案「2006年度執行役員選挙」では、役職別に下記の候補者があったとの報告がありました。

役 職	候補者名	所 属	役 職	候補者名	所 属
委員長	西川 洋	人文学部	執行委員	梅田 直明	工学部
副委員長	石井 敦	生物資源学部	監 事	徳田 博美	生物資源学部
書記長	藤田 達生	教育学部	監 事	深井 英喜	人文学部
書記次長	杉田 正明	教育学部			

代議員による投票で、全員満票で選出された後、新委員長の挨拶がありました。なお、新役員は、規程により全組合員による信任投票に掛けられることになりました。

続いて、新執行部から第4号議案「2006年度活動方針案」第5号議案「同予算案」の提案があり、大学当局に教職員の要求を出すにあたって出来るだけ多くの声を集める努力をしたい、3月までの短期間に今後の給与体系や昇進制度の大枠が決まるので、これを重視したい、等の方針が説明されました。

追加議題として、2006年度選挙管理委員として、前執行部の松岡(教育支部)川端(同)前田(工支部)が提案され承認されました。最後に、議長団解任、閉会挨拶があり、19時45分に大会は終了しました。

新役員信任投票結果

規約第26条にもとづき、新役員の信任投票が05年12月13日~06年1月6日の期間に行なわれました。投票結果、全員が信任されました。総投票数(有効投票)198票で、候補者全員が信任投票されました。